

SHIRASAGI®

環境経営レポート 2023



エコアクション21®
認証番号0008443



白鷺電気工業株式会社

発行：2024年8月31日

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日



CONTENTS



1. TOP MESSAGE	P2
----------------	----

2. 会社概要と企業理念 / Vision80	P3
-------------------------	----

3. 白鷺電気工業の歩み	P5
--------------	----

..... Plan

4. 環境経営目標計画	P7
-------------	----

..... Do

5. 実施体制と活動内容	P9
--------------	----

..... Check

6. 取組実績と評価	P15
------------	-----

二酸化炭素排出量の削減 / ガソリン・軽油使用量の削減

電気使用量の削減 / 水使用量の削減・廃棄物排出量の削減

Vision80 活動実績

環境経営計画3カ年

環境関連法規への確認および評価、違反・訴訟

..... Action

7. 代表者による全体評価と見直し	P26
-------------------	-----

人的資本経営について / 資格取得一覧

編集方針			
〈認証・登録範囲〉	本社・八代支社・福岡支社・京都支社・人吉営業所・鹿児島営業所・しらすぎエナジー株式会社		
〈報告対象期間〉	2023年4月1日～2024年3月31日		
〈環境管理責任者〉	東 光明	〈発行日〉	2024年8月31日
〈参考ガイドライン〉	「エコアクション21建設業向けガイドライン2017年版」 「すべての企業が持続的に発展するために-持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド-」		
〈お問い合わせ先〉	白鷺電気工業株式会社 / 担当 内田 〒861-8035 熊本県熊本市東区御領8丁目3-38 TEL(096-380-7171) FAX (096-380-7140) https://www.shirasagidenki.co.jp		

「80周年を見据えて」

白鷺電気工業株式会社は、昭和22年2月に有限会社白鷺電気工業所として創業いたしました。以来、電気工事会社として安全で安定した電気をお客様にお届けすることを通して、熊本を中心に電気エネルギーの「くらしと産業の礎」を拓いてまいりました。

■白鷺電気工業Vision80

2027年に迎える80周年を見据え、中長期の経営計画として白鷺電気工業Vision80の4つのビジョンを推進してまいりました。当社の既存事業である電気や電気通信設備維持の技術を磨きつつ後継者の育成に注力し(①本業を深め、広げる)、経営環境の変化に追従した企業改革に繋げる(②社内起業を促進する)という「両利きの経営」を目指してまいりました。また、労働集約型産業である建設業界の担い手不足を補うべくDX化を進めるとともに、社員の心とからだの健康と安心して働きやすい環境づくり(③働き方改革を実現する)に取り組んでいます。

そして白鷺電気工業は地域に育てられ成長してまいりました。そんな地域へ恩返しをするためカーボンニュートラルの実現や環境保全、地元雇用の促進、災害支援などを推進(④さらに地域と共に歩む)し、「地域と共に歩む白鷺電気工業」であり続けたいと思います。

■脱炭素とレジリエンス強化への取り組み

当社は周年記念の節目に様々な脱炭素・カーボンニュートラルに挑んでまいりました。創業70周年記念事業の一つとして進めた本社社屋の建設は、「平成28年熊本地震」の経験を踏まえ、三つのコンセプト「①災害に強いビル、②ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の導入、③働き方改革」を掲げたものです。さらに、75周年に完成したZEH-M Ready(ゼッチ・マンション・レディ)の八代社員寮カーザ・エグレッタⅡの建設や、しらさぎエナジーで行っているEVバス実証運行などにも取り組んでいます。

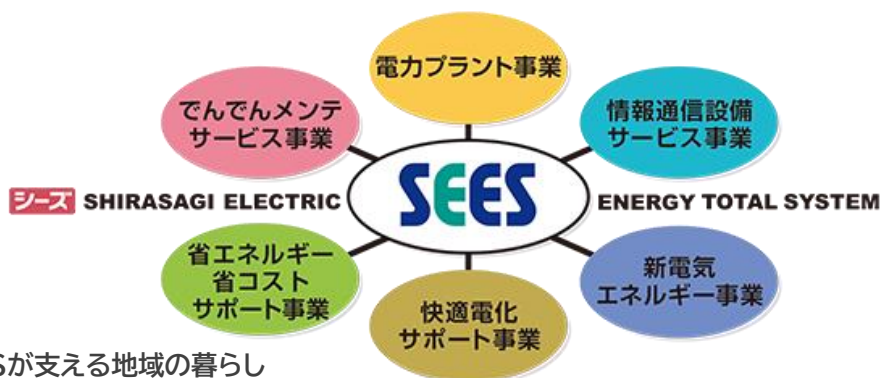
2023年12月には熊本市と「カーボンニュートラルの実現及びレジリエンス強化に関する連携協定」を締結しました。現在、オートリース会社と提携し、九州の各企業の社有車電動化のコンサルティングを行っています。今後は、「EV通勤×職場充電サービス」であるHakobuneサービスをはじめ様々な企業と連携し、自社だけでなく、熊本をはじめ九州の企業の脱炭素・カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。



会社概要

事業者名	白鷺電気工業株式会社
代表者	代表取締役社長 沼田 幸広
所在地	〒861-8035 熊本県熊本市東区御領8丁目3番38号
	八代支社 八代市宮地町1680
	福岡支社 福岡市博多区博多駅中央街8-1JRJP博多ビル3F
	京都支社 京都市右京区梅津南広町6-1 エスパシオ梅津4-A号1
	人吉営業所 人吉市願成寺町1343-1
	鹿児島営業所 鹿児島市西千石町11-21 鹿児島MSビル6階
	しらすぎエナジー株式会社 上益城郡益城町小谷2224-8
資本金	1億円
創業	1947年2月
事業内容	電気工事業、土木工事業、とび・土木工事業、鋼構造物工事業、塗装工事業、水道施設工事業、管工事業、電気通信工事業、消防施設工事業、機械器具設置工事業
認可・許可	特定建設業 国土交通大臣許可第18899号 電気工事業、土木工事業、とび・土木工事業、鋼構造物工事業、塗装工事業、水道施設工事業 一般建設業 国土交通大臣許可第18899号 管工事業、電気通信工事業、消防施設工事業、機械器具設置工事業
審査・登録	建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS)、建設業労働災害防止協会、エコアクション21(持続性推進機構)

でんきで 広がる 楽しい地球。



■SEESが支える地域の暮らし

総合技術商品である「しらすぎ 電気エネルギー総合システム(SEES)」は、これまで培ってきた発電電・送電工事の技術を基盤に、電気設備の新設・補修工事や太陽光・風力発電等の新電気エネルギー導入のご提案、経済環境には不可欠な省エネルギー・省コストの実現、さらに快適なオール電化のご提案、ビルや事業所の保守・メンテナンスを行い、皆さまのくらしと産業をサポートする体制を構築していきます。

くらしと産業の礎をひらくパートナーシステムの白鷺電気工業

存続6ヶ条

1. 安全 私たちは作業環境の整備を図り、災害ゼロの明るい職場をつくります。
2. 協調 私たちは相互信頼の精神に立ち、常に相手の立場で考え行動します。
3. 技術 私たちはいかなる要望にも即応できる技術としくみを開発します。
4. 啓発 私たちは常に前進を忘れず、昨日よりも今日、今日よりも明日と自分をみがきます。
5. システム 私たちは受注から完成、アフターサービスまでよきチームワークでムダ、ムラ、ムリのない相互協力を行います。
6. 業績 私たちはよい仕事を安く、早く、きれいに仕上げるにより信用・業績を高めます。

環境経営方針

制定 2011年12月1日 改訂 2019年 7月1日

【基本理念】

白鷺電気工業は、「企業使命感」及び「存続6ヶ条」に基づき、国際社会の目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」を考慮した事業活動を行い、社会・経済の発展と地球環境保全に貢献していくとともに、地球上の誰一人として取り残さない(Leave no one behind)ことを理念としてSDGs達成に向けた活動に積極的に取り組みます。

【行動方針】

環境に配慮した事業の推進

事業活動における環境への影響を低減させるため、環境への配慮を行うための目標を明らかにするとともに、これに基づく取組をPDCAサイクルの繰り返しにより継続的な改善に取り組みます。

法規等の遵守

事業活動に関係する品質・環境関連法規制、条例、協定及びその他合意した事項を遵守します。

啓発活動の推進

環境教育、環境社会貢献活動などを通して本方針を周知するとともに、社員の環境保全の意識の向上を図り、地域の環境保護活動に積極的に貢献します。

コミュニケーションの推進

社内外のステークホルダーとの積極的な環境コミュニケーションを進め、相互協力に努めます。

SDGs(Sustainable Development Goals)への取組み

「知る」から「行動する」、そして「貢献する」へとSDGsに対する取組みに注力します。

白鷺電気工業株式会社
代表取締役社長 沼田幸広

Vision80

白鷺電気工業80周年に向けた事業展開のすべての指針。そのための骨格となる4つの柱

「本業を 深め広げる」

人材育成・技術継承を行い、多能工化し、培った既存の技術で新規顧客の開拓を行う

「社内起業を 促進する」

社内の各部署で検討し、身近な所から洗い出し、新規事業等の提案を行う

「働き方改革を 実現する」

有休取得率をアップして、働きやすい職場を目指す

「さらに地域と 共に歩む」

ボランティアに積極的に参加して、さらに地域に根ざし、地域に愛される企業を目指す

会社沿革

1947. 2 八代市萩原町に(有)白鷺電気工業所を創業
 1977. 3 鹿児島営業所開設
 1987. 4 人吉営業所を開設
 1988. 7 福岡営業所を開設
 2009.12 電気自動車 導入
 2011. 3 電気自動車用急速充電器設置
 2012. 4 京都支社を開設
 2013. 3 「しらさぎエナジー(株)」設立
 「メガソーラーしらさぎ高遊パーク
 発電所」 竣工

 メガソーラーしらさぎ高遊パーク
 2015. 2 白鷺電気工業の100%持株会社として
 「しらさぎホールディングス(株)」 設立
 2017. 2 創立70周年
 2017. 4 しらさぎファーム(株)が
 「農業所有適格法人」として活動開始
 2018. 2 新社屋竣工、本社移転
 2018. 6 新本社ビル Nearly ZEB 達成
 2019.12 EVバスプロジェクト 実証運行スタート
 2022. 3 西日本初ZEH-M Ready仕様の省エネ最
 先端の社員寮「カーザ・エグレッタII」完成

 ハイブリッドファン
 2023. 1 ハイブリッドファン
 販売開始

 2023.11 「白鷺電気工業DX計画」を策定・公表

エコアクション・環境経営レポート歴史

歴代の環境経営
レポートを一部
ご紹介

これまでに多くの賞を
受賞しています！



2012.7 初刊発行

2012. 6 「エコアクション21」認証

2012. 7 環境経営レポート 初刊発行



2014.4 発行

2014. 4 環境経営レポート発行
 「環境活動レポート大賞・九州」
 エネルギー部門賞 受賞



2015.12 発行

2015.12 環境経営レポート発行
 「環境活動レポート大賞・九州」
 九州地方環境事務所長特別賞 受賞
 「環境コミュニケーション大賞」優良賞受賞



2021.10 環境経営レポート発行
 「エコアクション21 オブザイヤー
 2021」 銅賞 受賞



2022.8 発行

2022. 8 環境経営レポート発行
 「環境活動レポート大賞・九州」SDGs 受賞
 「エコアクション21 オブザイヤー2022」
 ソーシャル部門 銅賞 受賞



西日本初ZEH-M Ready仕様の社員寮



しらさぎファーム(株)



EVバス



NPO法人しらさぎとSDGs活動の歴史

- 1998. 7 特別養護老人ホームやすらぎ荘清掃奉仕活動からスタート
- 1999. 8 八代城跡の清掃奉仕活動をスタート
- 2004. 7 熊本城の清掃奉仕活動をスタート
- 2007.11 NPO法人しらさぎ 設立
- 2008. 4 阿蘇西原村植林活動をスタート
- 2010.12 阿蘇西原村下草刈りをスタート
- 2016. 7 熊本市江津湖で清掃奉仕活動を実施

...

表 彰

- 2012 第21回くまもと環境賞「奨励賞」
- 2014 第23回 「くまもとストップ温暖化賞」
- 2015 環境大臣表彰 地域環境美化功労者 受賞
- 2015 「肥後の水とみどりの愛護賞」受賞



水前寺成趣園清掃活動



八代城跡清掃活動

...

- 2022. 9 熊本市江津湖清掃奉仕活動
- 2022.11 西原村灰床地区植林活動実施



白鷺で一番最初に作った

SDGs社内ポスター！

SDGsの読み方から
スタートしました。
以前はまだ世間あまり
知られていなかったので、
まず言葉を知ることから
はじめました。



- 2018.12 年末の食事イベントで『3010運動』を実施
- 2019. 5 就労支援施設と協力し、オリジナルのSDGs木製バッジ作製を開始
- 2019. 7 社員旅行の夕食時に『3010運動』を実施
- 2019.10 全社員対象 e-ラーニングでSDGs学習を開始
- 2020.10 地元の高校生に環境教育の一環でSDGsの取り組みを伝える
- 2021. 3 お取引先様と協力し、絶滅危惧種の『ニホンメダカ』を飼育
- 2021. 5 『ニホンメダカ』を地元の小学校へ寄贈
- 2021. 8 熊本県SDGs登録事業者『第1期』登録『パートナーシップ構築宣言』を公表

...

- 2022. 5 第1回フードドライブ実施
『ニホンメダカ』を地元の小学校へ寄贈
- 2022. 7 社員旅行の夕食時に『3010運動』を実施
- 2022.10 新入社員へe-ラーニングでSDGs学習を開始
第2回フードドライブ実施
- 2022.12 年末の食事イベントで『3010運動』を実施
- 2023. 3 第3回フードドライブ実施
花見で『3010運動』を実施



地元就労支援施設での木製バッジ作製時の様子



【3010運動】オリジナルポスター

環境経営目標

対象期間／2022.4～2025.3

区分	項目	基準年 2021年 実績値	単位	3年間の目標		
				2022年 ▲1%	2023年 ▲2%	2024年 ▲3%
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素 総排出量	364,464	kg-CO ₂	360,819	357,175	353,530
	電力の削減 (調整後排出係数)	167,678	kwh	166,001	164,324	162,648
	ガソリンの削減	95,327	ℓ	94,374	93,420	92,467
	軽油の削減	25,194	ℓ	24,942	24,690	24,438
一般廃棄物 排出量	一般廃棄物削減	8,448	kg	8,364	8,279	8,195
産業廃棄物 排出量	産業廃棄物削減	116,681	kg	115,514	114,347	113,181
水使用量	水使用量の削減	468	m ³	463	459	454
カーボン ニュートラル 実現	電動車ヘシフト	13(72%) (2021年度実績)	台	14 (1台追加)	15 (2台追加)	16 (3台追加)
環境に配慮した 事業活動	社会への啓発 活動の推進	2	件/年	2	2	2
化学物質の 管理	化学物質の 適切な管理	1	回/ 四半期	1	1	1

(注記) 1. 電気の詳細な排出係数は2022年度九州電力の調整後排出係数0.467kg-CO₂/kWhを使用する。

2. 化学物質の管理においては、塗料・シンナー・高圧絶縁油などにおいて内容・性質などの把握及びSDSに沿った適切な取扱と管理の実施を行う。

(目標の設定)

2021年実績から目標値を設定。3カ年の間に1%ずつ排出や使用量の削減、カーボンニュートラルや環境に配慮した活動を目指します。2021年から5カ年をかけて対応可能な社有車を段階的に電動車へ置換えていく脱炭素カーボンニュートラル計画に着手しています。

(グリーン購入について)

文房具等や決まった資材の購入にとどまっており要求事項からも外れているため、活動は継続するものの目標からは外れています。

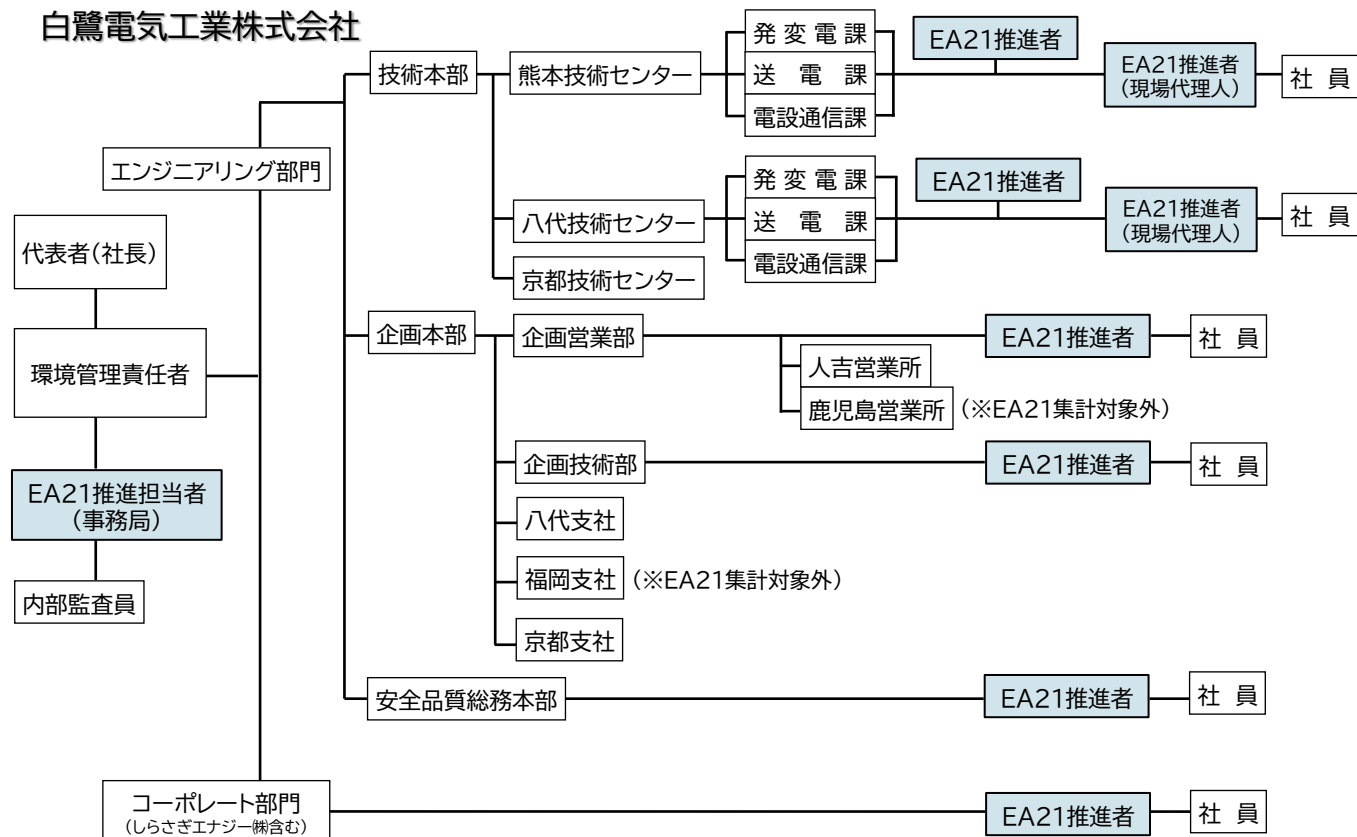
環境経営計画

対象期間／2022.4～2025.3

環境経営方針		取組み事項	実施内容	SDGs の取組
1 環境に配慮した事業の推進	地球環境問題への取組み	ガソリン、軽油等燃料使用状況・車両管理システムの利用率向上	・車両管理表の記入徹底による燃費管理 ・ドライブレコーダー全車両取付による運転特性の把握 ・Mobility Passport導入による社用車稼働率の向上と記録用紙の削減	    
		省エネ省コスト製品の提案・導入	・(COOL CHOICE)エコカーの導入、段階的なEV化移行 ・省エネ関連製品の提案・導入促進(EVバス等) ・ZEH-M社員寮の運用管理(V2H設置、カーシェアリング含む) ・八代支社 環境配慮型社屋への建て替え工事検討	
		地域環境活動NPOボランティア	・熊本城と八代城跡の清掃活動 ・森林水源涵養のための植林や下草刈り等の里山保全活動	
		電気・水使用の管理	・使用量の把握と節水活動の推進 ・照明の人のセンサー・季節ごとのスケジュール機能見直し	
		クリーンエネルギーの活用	・太陽光発電所発電事業 ・本社ビルの地中熱利用換気システム、太陽光発電、太陽光利用給湯、蓄電池の利用	
	循環型社会形成への取組み	廃棄物排出量の把握	・マニフェストの管理と分別収集の徹底 ・廃棄物排出量の削減	    
		ペーパーレス化の推進	・プリンターのID管理による無駄な印刷の抑制 ・オンライン会議での資料画面共有による会議資料の印刷削減 ・スマホでも閲覧可能なように添付資料のPDF統一化 ・プリンターの印刷色 デフォルトを白黒にするルール化 ・印刷紙の裏面活用、印刷時の縮小化、両面印刷の推進 ・各種申請、日報、給与明細のシステム化(スマホ or PC閲覧) ・全社員への業務用スマホ、ノートPCの貸与	
		グリーン調達	・事務用品、工事資材等の積極的なグリーン商品購入	
		ICTを用いた先進的な取組み	・テレワークやオンライン会議を多用し、移動による労働時間やCO ₂ 排出、エネルギー等の削減 ・e-ラーニングによる社員のSDGs教育・社内データの一元管理化 ・本社「Nearly ZEB」認定、ZEBリーディング・オーナー登録 ・体温検知システム販売・現場支援システムを用いた業務の合理化 ・電気通信工事事業者広域連携基本協定締結 ・スマート農業技術の開発・VR技術を用いた技術教育の構築	
2 法規等の遵守	環境管理の推進	化学物質等の適切な管理・処理及び代替化の取組み	・SDS制度に基づいた化学物質使用量の厳格な在庫管理 ・化学物質使用量の削減 ・資材倉庫、油倉庫の整理整頓	    
		環境法規制の遵守	・環境法規制の遵守を行い、景観・騒音・振動・悪臭・緑化に配慮する	
		ハザードマップ作成	・現場周辺の過去の災害、地形や環境を調べて作成し現場事務所に掲示	
		生物多様性に配慮した工法	・工事現場地域の生物多様性に配慮した行動、工法を検討実施する	
		災害時の備え BCP対策	・非常用電源の点検、災害対策本部の見直し、連絡体制の模擬訓練 ・長距離無線LANや安否確認システム等連絡手段の確保 ・食料備蓄品、段ボールベッド、簡易型炊き出しセットなどの管理	
3 啓発活動の推進	環境活動の推進	環境マネジメントシステムの自律運用	・EA21推進委員会(月1回/年12回) ・クロスパトロール実施(3カ月に1回/年4回) ・内部監査の実施・防災訓練、環境教育の実施	      
		各事業所単位の環境活動支援	・地域ボランティアによる環境貢献活動	
		職場環境の向上	・働き方改革の推進 ・ワークライフバランスの推進 ・ジェンダーダイバーシティマネジメントの推進 ・外国人の雇用 ・全フロアWi-Fi化による座席の自由度と効率化 ・ムダムラを無くす文房具の共有化 ・治療と仕事の両立支援、キャリア育成の行動計画策定 ・アルコールチェック義務化の対応・業務打合せ時間の見える化	
4 コミュニケーションの推進	社会との協調	環境コミュニケーションの推進	・食事の機会に「3010運動」の実施 ・インターンシップや会社見学の受け入れ ・会社見学者の即時受付のための体制 ・環境経営レポートの配布(会社見学・採用活動・営業活動時) ・各種環境等コンクールへの応募・ホームページにてレポートの公開 ・SNSを用いた会社情報や環境活動の発信・各種寄付活動	   

実施体制

白鷺電気工業株式会社



(※EA21集計対象外)について…賃貸オフィス、常駐でないため

順 位	主な責任と権限
代表者(社長)	環境経営方針の制定と、EA21環境マネジメントシステムの統括 環境管理責任者の任命 取組状況を評価し全般的な見直しの実施及び指示 環境活動への取組を適切に実行するための資源(人・物・金)の準備
環境管理責任者	代表者より委任を受け環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 環境経営計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 環境関連法規のとりまとめと評価及び環境経営レポートの確認と公表
EA21推進担当者 (事務局)	環境経営における事務局としての環境管理責任者の補佐 環境活動における決定事項を社員全般への伝達及び環境活動記録の取りまとめ 環境上の外部コミュニケーション窓口 環境関連法規の取りまとめ及び環境経営レポートの作成、環境管理責任者への報告
EA21推進者	環境経営の事務所における記録と事務局への報告 事務所内におけるエコ活動の推進 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
EA21現場推進者 (現場代理人)	環境経営の現場における記録と事務局への報告 現場内における緊急事態への対応訓練実施と記録及び事務局への報告 一般廃棄物、産業廃棄物の管理と事務局への報告
社員	環境経営方針、環境目標に沿った環境活動の展開 環境活動における改善点の提言

訓練・教育の実施

2023. 6 出前授業

将来の熊本を担う学生の人材育成を図ることを目的として、八代工業高校に訪問し出前授業を毎年行っています。今年はスマート農業技術の開発・デジタイゼーション仕事のデジタル化についての座学や、体育館では当社商品の広域Wi-Fiシステムの概要やIPカメラを使ったDXの説明を行いました。



2023. 8 安全総点検

しらすぎグループと協栄会社様をお招きして実施しています。安全や社長表彰のほかに、日新電機様からの災害VR体験や、熊本産業保健総合支援センター様からメンタルセルフケアについて講話をしていただきました。安全だけでなく日頃のメンタルケアについて深く考えさせられました。最後は当社と協栄会社の代表による安全宣言を行っています。



2023. 8-9 新入社員フォローアップ研修とワークショップ

外部講師をお招きし、新入社員へ基本的な接客・電話対応やキャリア研修などの学習をしました。また、新入社員だけでなく、階級別に合わせた管理職教育やコミュニケーション能力育成などのワークショップも行っています。



2023. 9 メンター制度

豊富な知識と職業経験を有した社内の先輩社員(メンター)が



後輩社員(メンティ)に対して行う個別支援活動です。キャリア形成上の課題解決を援助して個人の成長を支えるとともに、職場内での悩みや問題解決をサポートします。

2023. 7 災害訓練

全国安全週間の「災害訓練の日」に合わせて、災害訓練を行いました。各部で実際の事故を想定し、緊急連絡体制や負傷者への対応など関係各所への連携を確認しました。

【訓練】災害情報伝達訓練(電話通信課) レベル3	
訓練 第二報(電話通信課)	
13:36	◇◇ 部長 現場到着(△△△ 責任者と合流し現場確認)
13:45	被災者 合志第一病院に到着(〇〇会社 〇〇作業責任者同行) 住所:〇〇 電話:〇〇
13:55	◇◇ 部長が病院に到着
14:00	合志第一病院で診察
被災者 氏名	〇〇(〇才)

2023.10 熊本シェイクアウト訓練



震発生時の迅速な避難行動ができるよう自分の命を守るための防災訓練『熊本シェイクアウト訓練』を毎年行っています。訓練用の音源を基に各々でデスクの下に避難し、揺れが収まるまでの安全確保行動を行いました。

2023.11 消防訓練

熊本本社は2階給湯室、八代支社は1階炊事場から出火したという想定で、火災発生感知器模擬試験、社内通報、消防署通報、避難誘導、人員把握、消火訓練などを実施しました。全社員が迅速かつ適切に行動できるよう、定期的な訓練を行っています。



2023.12-2024. 3 新中期経営計画検討ワークショップ

新任課長を中心としたメンバーに若手やベテラン社員を加えたプロジェクトメンバーを招集しワークショップを行いました。80周年に向けての具体的な目標を再設定し、全社員が納得した上でスピード感をもって目標に取り組むことを目的としています。

2024. 3 安全の日

昨年は4年ぶりに全社員が八代支社2階に集まっての開催となりました。三井住友オートサービス様から講師をお招きし、運転時によくある危険な場面についての安全運転講習をしていただきました。危険を再認識した日となりました。また、SDGs教育も行い意識定着を図っています。





今年度の表彰・認証

2023. 8 「森林×脱炭素チャレンジ2023」にて 「グリーンパートナーマーク」を取得

林野庁が2022年に創設した「森林×脱炭素チャレンジ2023」の「森林づくり部門」に応募し、当社の水源・里山保全を目的とした森林整備に関するCO₂吸収量と取り組みの内容が総合的に評価されました。優れた取り組みとして「グリーンパートナーマーク」を取得しました。



2023.10 SECURITY ACTION(二つ星)を宣言

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)が創設した、中小企業等が自ら情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度です。当社が掲げた情報セキュリティ基本方針に基づき全社で取り組みます。



2023.10 「人的資本経営コンソーシアム」に入会

本コンソーシアムは、企業が人的資本の価値を最大化し、持続的な成長と社会貢献を実現するための基盤となります。人的資本に関する最新の知見や好事例を共有し、相互に学び合うことで、より効果的な経営戦略を構築します。当社もこの活動を通じて、社員の成長と企業価値の向上に努めてまいります。



2023.12 環境経営レポート大賞・九州 「九州環境カウンセラー協会特別賞」を受賞

環境コミュニケーションツールとして優れており、環境マネジメントシステムが有効に機能していることが高く評価されました。



2023.12 くまもとSDGsアワード2023 くまもとSDGs牽引部門入賞

熊本県内のSDGsに関する取り組みのさらなる進化と質の向上を目指し、独自の先導的な取り組みを行う県内事業者や地域社会に貢献する優れた団体として表彰されました。NPO法人を設立し、清掃・植林・希少生物の育成など社外にも環境やコミュニケーション活動を広げていることなどが評価されました。



2023.12 熊本市と「カーボンニュートラルの実現及び レジリエンス強化に関する連携協定」締結

当社としらさぎエナジーが取り組む「再エネ×電動車の同時導入による脱炭素型カーシェア・防災拠点化促進事業」に関連し、熊本市が目指す温室効果ガス排出量削減及び災害に強いエネルギーシステムの構築に向け、3者が連携して取り組むことを目的とした協定を締結いたしました。これによりなお一層の脱炭素に貢献するとともに、災害時には当社保有電動車及びこれらの設備を災害現場で有効活用することでレジリエンス強化が図られます。

2024. 1 熊本市が発行する 「グリーン/ブルーボンド」への投資

環境分野への取り組みのうち特に海洋資源・生態系の保護、淡水資源の保全等に資するプロジェクトに充当先を限定した資金調達のために熊本市が発行する債券へ投資を行いました。当社はSDGsの取り組みの一つとして、本債券への投資を通じ、環境経営の促進を図るとともに、今後も持続可能な社会の実現に貢献できるよう努めてまいります。

2024. 1 「熊本県森林吸収量認証書」交付

令和4年度の森林整備活動(植林・下草刈り)によって吸収された二酸化炭素量2.20t-CO₂/年の認証書が熊本県から交付されました。この認証制度創設当初から13回連続の交付となります。



2024. 3 「健康経営優良法人2024 (中小規模法人部門)」認定

優良な健康経営を実践している法人を「見える化」し、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから評価を受けることができる環境を整備することを目的に、経済産業省と日本健康会議が共同で創設した制度です。当社は昨年度に続き、4年連続5回目の認定となります。今後も社員の心とからだの健康保持増進に向けた環境整備を図り、健康で働きやすいウェルビーイングな職場づくりを推進してまいります。



2024. 3 エコアクション21 オブザイヤー2023 「ソーシャル部門 銀賞」受賞

エコアクション21認証事業者の環境経営や社会課題解決の取り組みを顕彰し、脱炭素社会の実現とSDGs達成を広く発信・加速させることを目的とした表彰制度です。「ソーシャル部門」において3年連続の受賞を果たし、今年は初の銀賞受賞となりました。



2024. 3 経済産業省「DX認定事業者」に認定

経済産業省が定めるデジタルトランスフォーメーション認定制度に基づき「DX認定事業者」として認定を取得しました。当社では「白鷺電気工業DX計画」を策定しており、社員一丸となって着実にDXを推進し、持続的な成長と持続可能な社会への貢献の実現に向けて、事業活動の変革に取り組んでまいります。





今年度のNPO法人しらさぎとの活動

水前寺成趣園清掃活動実施(2023.9)



9月に清掃を行った水前寺成趣園は園内を境内として創建された出水神社が管理されているため、高い樹木の伐採作業や広い池内の清掃に苦労しました。当社の高所作業の経験を活かした樹木の伐採や、腰まで水につかり重い砂利をすくい上げる力仕事は、出水神社を管理される方々に大変喜ばれました。普段はあまり立ち入ることのない神聖な場所ということもあり、私たちも作業の後は清々しい気持ちと貴重な経験をさせて頂いた感謝の気持ちでいっぱいになりました。



高所作業はバケット車で慎重に



八代城清掃活動実施(2023.10)



鉄塔工事の技術を発揮

八代市を代表する国指定史跡である八代城跡は、別名「白鷺城」とも呼ばれていました。石垣の除草作業では強固な守りの役目を果たしてきた高さ10～20mの石垣の上から人がロープを伝い、石の間に生えている草を丁寧に取り除きます。普段の工事で培った高所作業の技術を活かし、安全第一で効率的に除草作業を行っています。



西原村灰床地区植林下草刈り実施(2023.12)



熊本県西原村造林地にヤマザクラ・ヤマモミジ・コナラ 合計500本の落葉広葉樹を新植しました。昨年の11月に新植を行った場所に隣接した土地へ今回植えています。当日は社員とその家族、さらに協力会社やお取引先の皆さまも含め総勢93名での活動となり、苗木一本一本の無事な生育の願いを込めて新植作業をしました。また、昨年新植を行った場所は下草刈りを行い、まだ小さい広葉樹を誤って切らないよう丁寧に作業を行いました。



今年度の主なSDGs活動

『ニホンメダカ』を地元の小学校へ寄贈(2023.6)



取引先企業様が取組んでおられた絶滅危惧種であるニホンメダカの育成を2021年から協働で始めました。八代支社で育成し始めたニホンメダカは卵の数も増え、たくさんの稚魚が産まれるようになりました。育てたニホンメダカは地域の小学校へ取引先企業様と一緒に寄贈しています。寄贈時はメダカの生態についての授業を行うため、子供たちに生物多様性の大切さを伝えていく活動となっています。



八代支社の水槽でメダカを飼育



小学校へ寄贈したときの様子



第6回フードドライブ実施(2023.7、2023.9、2024.2)



2024年2月に集まった食品



2022年からはじめたフードドライブを今年は3回実施しました。最初は一つの部署のみで実施していましたが、今では全社的にを行っています。主に年末年始やお盆など人や食品が集まる時期に合わせて実施するようにしています。各家庭で食べきれない食品を集め、地域のフードバンクへ持ち込んでいます。寄付される食品の量が減少してきていることから、食品管理の意識が根付いてきたと感じています。

『3010運動』を実施(2023.7、2023.12、2024.3)



2018年から環境省が推進している「3010運動」に取り組んでいます。これは最初の30分間と最後の10分間は席を立たずに食事を楽しむ時間を設ける活動のことで、社員の声から取り組みが始まりました。忘年会・花見・社員旅行などの食事の機会毎に活動を続けています。宴会時の食べ残しを無くす「フードロスの削減」問題をご家族と一緒に考えてもらうことで社員の意識も変わり、今ではお酌のために席を立つよりも目の前に出された食事を残さず美味しくいただくという行動へ変化しました。今年は社員旅行が4年ぶりに復活し宴会を開催しましたが、家族も含めた総勢200名以上で行う「3010運動」の効果は健在でした。ホテル側でも従業員への業務改善・フードロス削減に繋がります。時間いっぱい食事を美味しく食べられるこの活動をこれからも続けていく予定です。



啓発三角柱



啓発ポスター

環境経営計画の評価

対象期間／2023.4～2024.3

環境経営方針	取組み事項	実施内容	評価	SDGsの取組
1 環境に配慮した事業の推進	地球環境問題への取組み	ガソリン、軽油等燃料使用状況・車両管理システムの利用率向上	○	     
		省エネ省コスト製品の提案・導入	○	
		地域環境活動 NPOボランティア	○	
		電気・水使用の管理	○	
		クリーンエネルギーの活用	○	
	循環型社会形成への取組み	廃棄物排出量の把握	×	     
		ペーパーレス化の推進	○	
		グリーン調達	○	
		ICTを用いた先進的な取組み	○	
2 法規等の遵守	環境管理の推進	化学物質等の適切な管理・処理及び代替化の取組み	○	     
		環境法規制の遵守	○	
		ハザードマップ作成	○	
		生物多様性に配慮した工法	○	
		災害時の備え BCP対策	○	
3 啓発活動の推進	環境活動の推進	環境マネジメントシステムの自律運用	○	     
		各事業所単位の環境活動支援	○	
		職場環境の向上	○	
4 コミュニケーションの推進	社会との協調	環境コミュニケーションの推進	○	     

取組実績

取組期間／2023.4～2024.3

100%以上  60%以上  60%未満 

項目	基準年 (2021年実績)		2023年 対象期間			
			目標値▲2%	実績	達成度	
CO ₂ 総排出量(kg-CO ₂)	364,464		357,175	308,912	116%	
電気	使用量(kWh)	167,678	164,324	166,369	99%	
	排出量(kg-CO ₂)	78,306	76,740	77,694		
ガソリン	使用量(ℓ)	95,327	93,420	67,783	138%	
	排出量(kg-CO ₂)	221,158	216,735	157,257		
軽油	使用量(ℓ)	25,194	24,690	28,667	86%	
	排出量(kg-CO ₂)	65,000	63,700	73,960		
一般廃棄物	排出量(kg)	8,448	8,279	7,430	111%	
産業廃棄物	排出量(kg)	116,681	114,347	322,636	35%	
	リサイクル率(%)	2021年度分から算出開始	—	98	98%	
水	使用量(m ³)	468	459	513	89%	
電動車ヘシフト	台数	13	15	16	80%	
	対象台数	18	20	20		
環境活動	件数	2	2	3(※)	150%	
化学物質購入	購入量(ℓ)	1,700	適切な管理	4,052	—	—

*数値目標は2021年実績を基準とし、2%削減を環境目標とした

*福岡・鹿児島支社は賃貸オフィス及び常駐ではないため集計対象外とした

※環境に配慮した事業活動…コロナ禍以前は年4回のペースだったため、様子を見ながら徐々に戻す予定

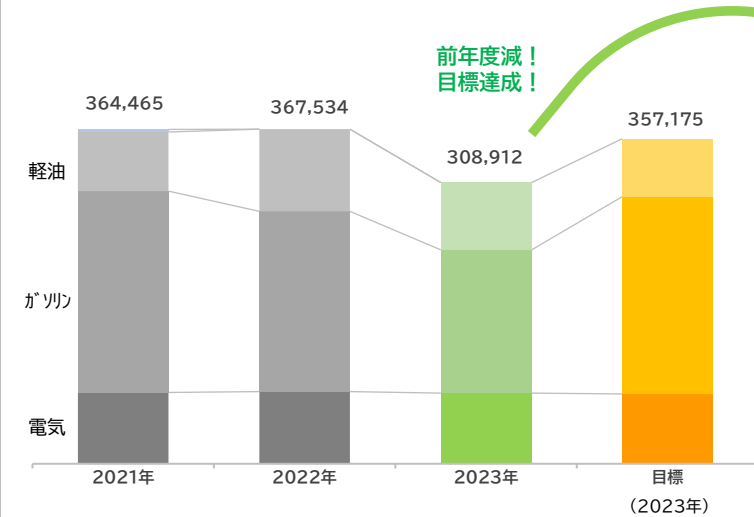
2023年度の評価

■全体的な数値について

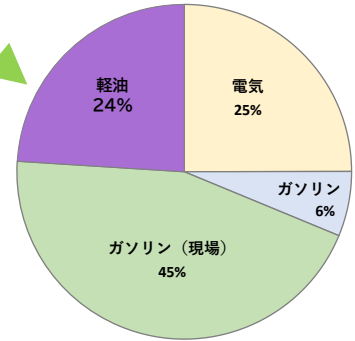
半分の項目で実績値が目標値には届いていないものの、それぞれの項目に対しての取組みがあったため、昨年度の実績と比べて数値削減をしています。達成率の低い産業廃棄物の実績値については、受注できた工事内容によって産廃量が左右されるため、引き続き取り組みを進めて可能な限り削減を行います。

二酸化炭素排出量の削減

■年度別 CO2排出量(kg-CO2)



■2023年 エネルギー使用割合



社有車管理アプリ Mobility Passportの活用

二酸化炭素排出量の削減に向けた取組みの中の一つに、Mobility Passport (※)を活用しています。全社員が社有車を効率良く使用できるよう遊休車を「見える化」し、スマホから予約を行います。



2023年12月からアルコール検知器を使用したアルコールチェック義務化に伴い、早くからチェック登録機能を追加・運用しています。

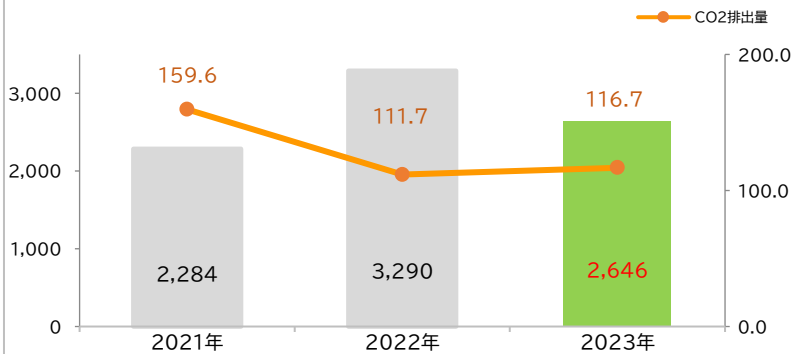


車両予約状況

アルコールチェック登録

※ Mobility Passport ...
住友三井オートサービス様アプリ

■出来高(百万円)当りのCO2総排出量(kg-CO2/百万円)



社有車の利用状況を「見える化」することで意識改革

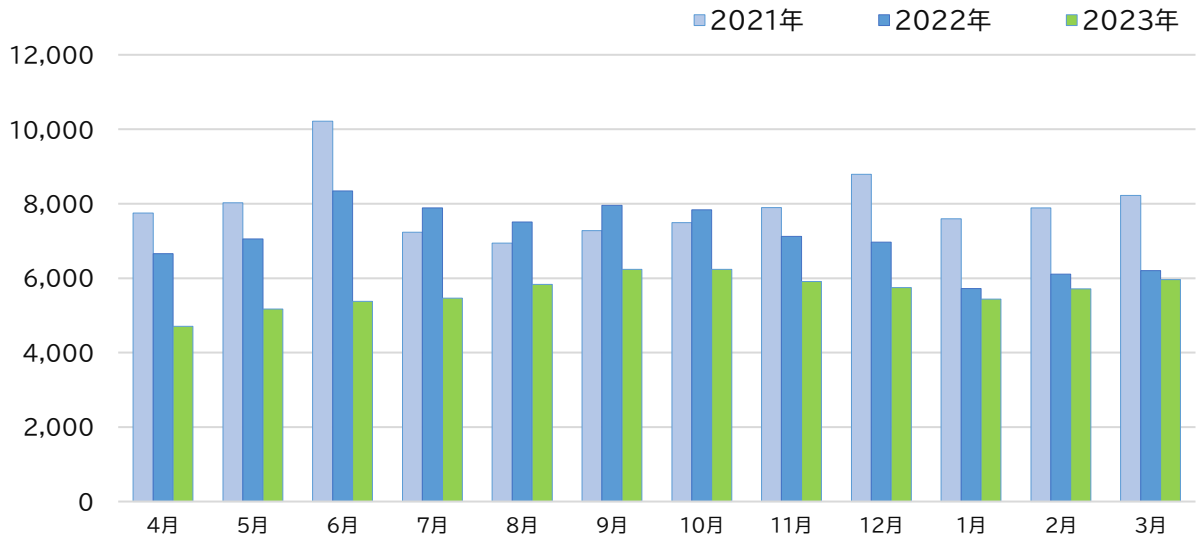
前年度と比較して、全体的な二酸化炭素排出量は削減し、特に使用割合の半分を占めるガソリン使用量が大きく減少しました。2023年はテレワークでの働き方も減少し出勤者が多くなりましたが、遠方の現場での工事が少なかったことと、電動車へのシフト、社有車管理アプリの活用等が二酸化炭素排出量削減への意識に繋がり、ガソリン使用量が削減したと考えられます。



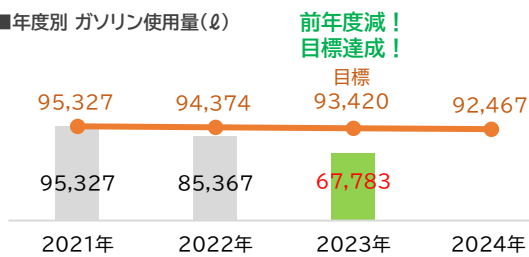
ほぼ全ての社有車にドライブレコーダーを設置し、ドライバーの運転を記録しています。そのデータを集計したものがランキングレポートとなり、全社員にランキングを「見える化」することで、安全運転とエコ運転につなげています。

ガソリン・軽油使用量の削減

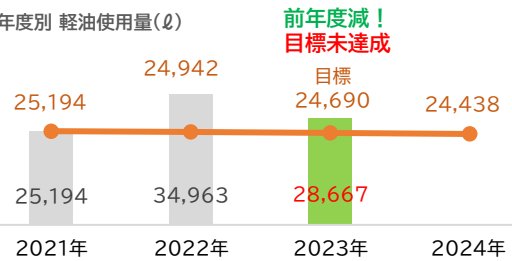
■月別 ガソリン使用量(ℓ)



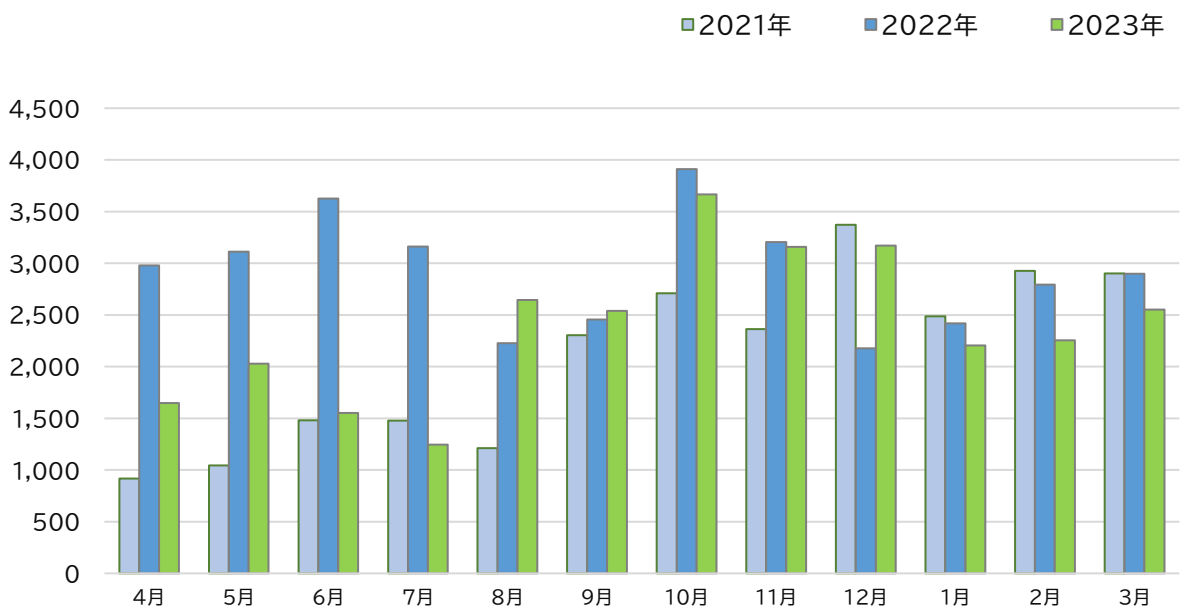
■年度別 ガソリン使用量(ℓ)



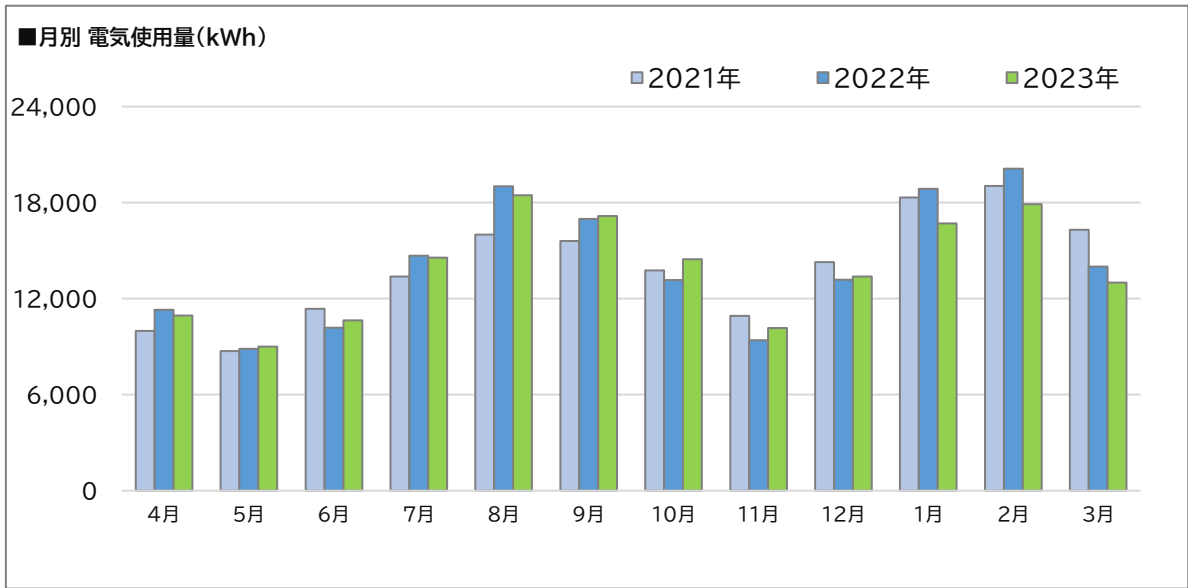
■年度別 軽油使用量(ℓ)



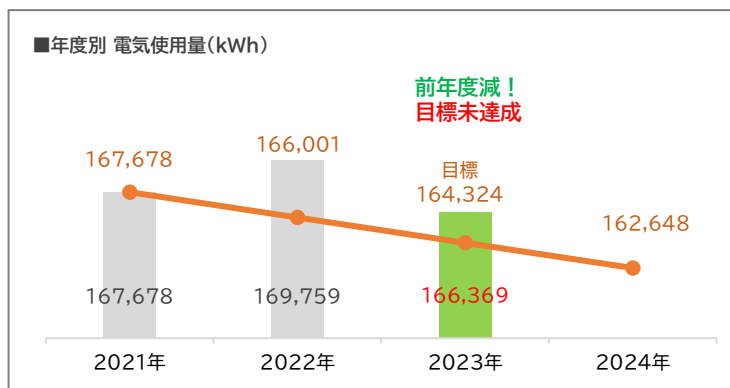
■月別 軽油使用量(ℓ)



電気使用量の削減



※ データ集計の対象は、本社社屋・八代支社社屋・倉庫・人吉支社・京都支社になります



主に使用している
電気って？



1位 空調 43%



2位 コンセント 20%

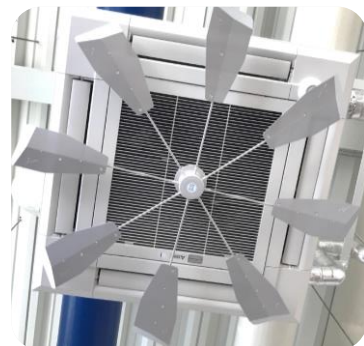
3位 照明 11%

ハイブリッドファンで快適&省エネ！？

エアコンの冷風が直接当たり寒いという社員の声から、2022年に本社社屋と支社のエアコン全てにハイブリッドファンの取り付けを行い、継続して使用しています。エアコンから出る風を攪拌させることで、室内の温度が快適になり、働きやすい職場環境づくりにも繋がりました。自分たちの経験を会社訪問に来られたお客様にもご紹介し、皆さんのお困りごとに応えていけるような販売事業もおこなっています。

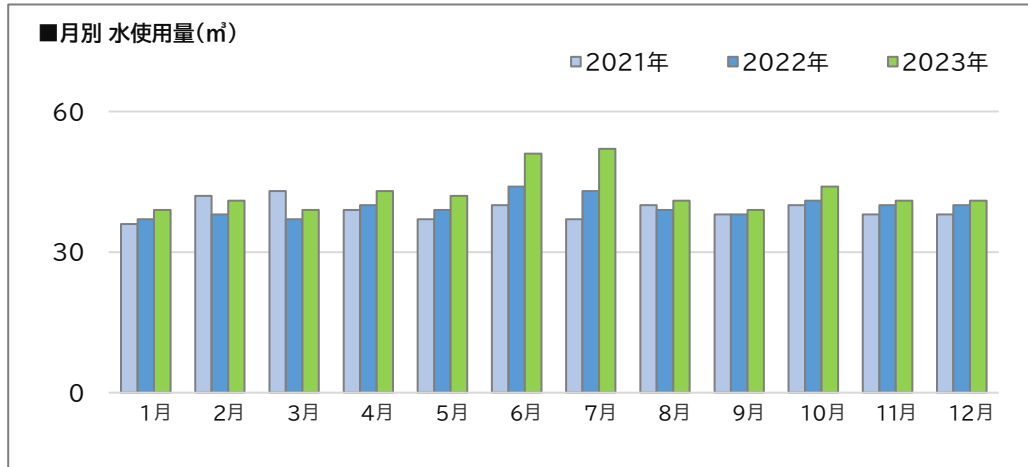


執務室に取り付けたハイブリッドファン

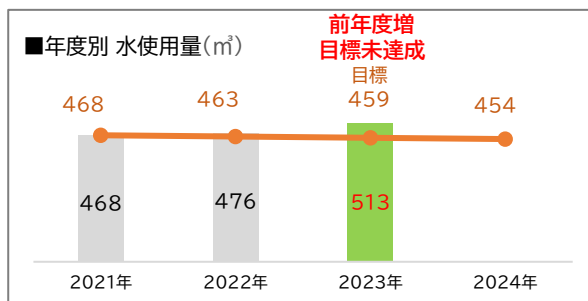


本社1F受付

水使用量の削減

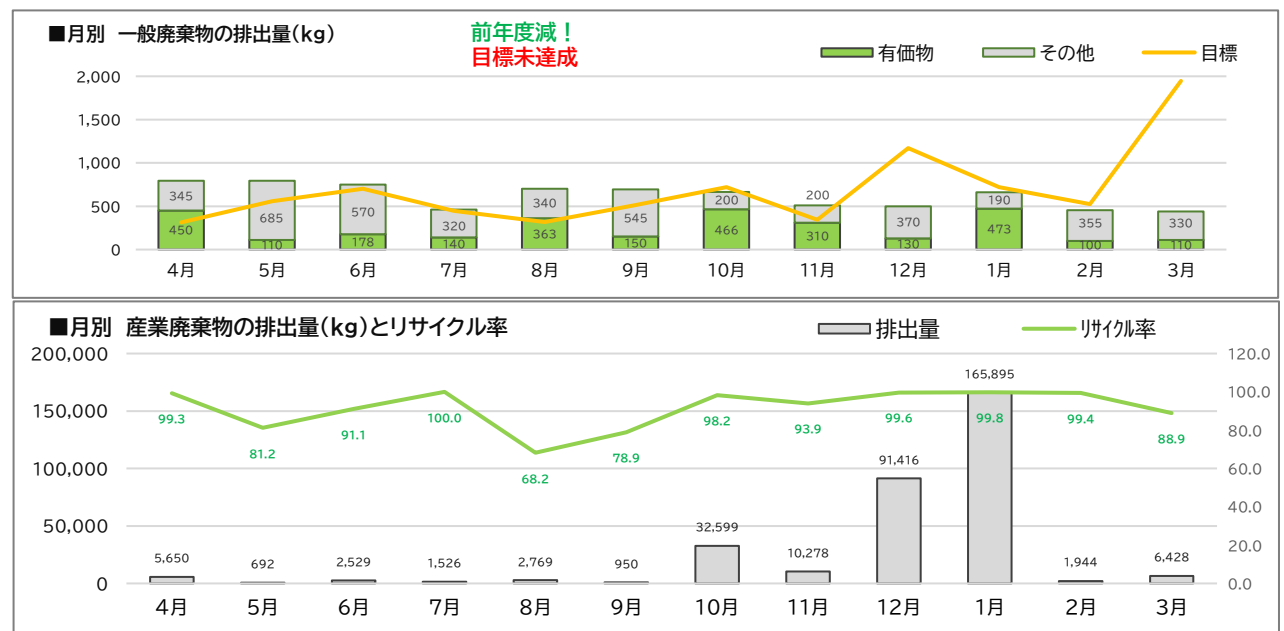


今後は取組みを強化！



2022年に引き続き使用量は増加となりました。出社率がコロナ禍前に戻りましたが、感染症が再び流行しないように手洗い・うがいは引き続き励行しています。今後も社員ひとりひとりのこまめな節水を意識した取組みを積極的に行ってまいります。

廃棄物排出量の削減



現場で出る廃棄物の数量を把握

昨年度から本社社屋・本社倉庫・支社倉庫から出る産廃量と各現場で出る産廃量の数値の集計、リサイクル率の算出を行っています。受注できた工事施工内容によって各月の排出量にバラつきはあるものの、昨年度よりも排出量実績は減少しています。これからも継続してエコアクション21推進委員会などで呼びかけを行い、目標に向けて削減を行ってまいります。

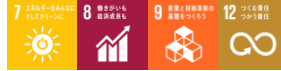
Vision80 活動実績



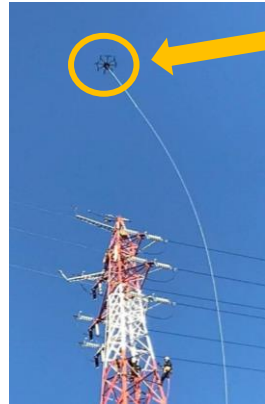
本業を深め、広げる

～ 白鷺電気工業が取り組むSDGs ～

ドローン活用



送電課ではドローンを活用した延線作業を行っています。
ドローンで引いた細いロープから段階的にロープを太くし、最後にアルミの電線を架線しています。以前はラジコンヘリを使用しての作業でしたが、ドローンに変えたことにより燃料の使用もなく、更に作業効率のアップにつながりました。来期は運搬用コンテナの重量を算出し吊り下げ実験を行います。



ドローンでの作業時の様子

GPSタグによる放牧牛安否確認実証実験



熊本県内で行われているUXプロジェクトの一環として、放牧牛の安否確認作業を効率化するための実証実験を行っています。具体的には、太陽光発電式の耳標型GPSタグを放牧牛に取り付け、省電力かつ衛生通信を用いることで位置情報や活動量、脱柵アラートなどを電池交換不要でモニタリングできます。これにより、農家が牛を探す作業効率の向上で管理負担の84%軽減が期待できます。今後の展望として、国内市場での導入を検討しており、放牧畜産農業においてCeres Tagなどのシステムを活用することで、生産性向上や労働力の削減を実現することを目指しています。

牛に関して
おまかせあれ！



経営戦略室 沖本部長



阿蘇の周年放牧における特有の問題点



CERES TAGとは

過酷な環境でも正確なデータ取得。
追加のインフラを必要としない、
世界初のスマートイヤータグです。



牛の耳に取り付けるGPSタグ



社内起業を促進する

～ 白鷺電気工業が取り組むSDGs ～

営業力を更にアップして、
カーボンニュートラルに
繋がりたい！



企画営業部 井田副長

EV充電器販路拡大による 脱炭素促進



EV充電器の導入提案や、販売・設置を行うことで脱炭素促進に努めています。EVを導入する企業様に対し、充電器や受電設備の改修工事から運用・保守点検までをワンストップで提供しています。



お客様の敷地に設置したEV充電器

しらさぎファーム商品開発販売



熊本地震の際、食糧のありがたさを強く実感し立ち上げた適格農業法人しらさぎファームで栽培・加工をしている熊本県産黒にんにくを使った新商品の開発を行っています。現在は10種類ほどの品揃えで本社受付やECサイト、マルシェ等で販売しています。



熊本県産黒にんにく



本社1階受付で販売中



EVバス

EVバス事業



カーボンニュートラルの実現に向けて、グループ会社がEVバスを購入しています。EVバスの利用促進を図る目的で自治体や企業への貸し出しを行っています。引き続き環境問題を自治体・企業の皆様と一緒に考え、普及拡大に努めてまいります。



働き方改革を実現する

～ 白鷺電気工業が取り組むSDGs ～

.. Check ..

吊り上げ装置の開発



発変電課では今まで配電盤吊り上げ作業に重量400kg以上では9～10人で作業を行っていましたが、この装置を開発したことで3人で作業できるようになりました。まさに働き方に直結する画期的な開発となりました。現在は施工実績を重ね設計検討が完了し、制作費用・方針について検討中です。また、新型も開発中です。

※全体の作業としては、玉掛・合図 監視者を考慮し、5名必要になります。



以前の作業



吊り上げ装置使用時の様子

人員・日程調整が
しやすくなって
労務費も削減！



発変電課 本田部長

プラスチック式マット運搬コンテナの製作



工事現場で地盤が緩い箇所に今まで鉄板プレートを敷いていましたが、一部を軽量プラスチック式マットに替えました。鉄板プレートだとユニック車で何度も往復して運搬をしていましたが、簡易コンテナを製作することで排気ガスがより少ないトラック等での運搬が可能となりました。

※サイズによるが鉄板1枚当たり400～900kg、プラスチック式マットは40kgほど。



マット運搬コンテナ

Hakobuneサービス導入



社員がマイカーとして使用する電動車

2024年1月、しらさぎエナジー株式会社と共に通勤用車両の新サービス(※1)を九州で初めて導入しました。経済コストや地球環境への配慮を考慮し、『EV通勤×職場充電サービス』を導入することで、社員はマイカーを購入する必要がなくなります。車の維持費を含めた総費用が削減され、社員にとってもメリットのあるサービスです。また、熊本市との連携協定で災害時の電源として活用することも可能です。(※2) 今後は台数の増加による更なる従業員エンゲージメントの向上や脱炭素・カーボンニュートラルの実現に貢献します。

※1 株式会社Hakobune様の提供するサービス

※2 本誌P11「今年度の表彰・認証」に詳細を掲載



それぞれに充電器が設置されている

CARBON
NEUTRAL!





さらに地域とともに歩む

～ 白鷺電気工業が取り組むSDGs ～

.. Check ..

外国人の雇用



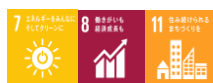
外国人の採用も積極的に行っており、2021年度のベトナム出身者に続き、2023年度はナイジェリア出身者が入社しました。安全が第一で、現場では危険な作業もあるため、日本語が理解できないと現場での作業は難しくなります。そこで入社してからの日本語教育にも力を入れています。今後も積極的に採用活動を行い、ダイバーシティの職場環境づくりを益々加速させたいと考えています。

勉強するのが楽しい！
たくさん日本語で話して
コミュニケーションをとってます



しらさぎエナジー
タオフィーク社員

企業様会社見学の受け入れ



2018年に竣工した本社社屋ビルは、高性能な省エネ設備と太陽光エネルギーの積極的な活用、オフィスビルでは日本初の直流配電+直流給電照明などの最新システムを導入し、正味で75%以上の省エネルギーを達成し、「N early ZEB」に認定されています。ZEBリーディングオーナーとして、SDGsの取り組みも紹介しながら、会社見学の受け入れを行っています。



会社見学の様子

学生との交流(インターンシップ・校外学習の受け入れ)



地元の学生に向けた
校外学習の様子

地元の学生を中心に、インターンシップや会社見学、校外学習の受け入れを積極的に行っています。企業が取組むSDGsの重要性についてや、ボランティア事例の紹介、ZEBの建物見学ツアーなどを通して、未来を担う学生たちに向けた、心に残る校外学習を目指しています。

環境経営計画 2022.4~2025.3

環境経営方針		取組み事項	実施内容	SDGsの取組
1 環境に配慮した事業の推進	地球環境問題への取組み	ガソリン、軽油等燃料使用状況・車両管理システムの利用率向上	・車両管理表の記入徹底による燃費管理 ・ドライブレコーダー全車両取付による運転特性の把握 ・Mobility Passport導入による社用車稼働率の向上と記録用紙の削減	
		省エネ省コスト製品の提案・導入	・(COOL CHOICE)エコカーの導入、段階的なEV化移行 ・省エネ関連製品の提案・導入促進 ・Hakobuneの運用管理・放牧牛安否確認システムの製品提案・導入	
		地域環境活動NPOボランティア	・熊本城と八代城跡の清掃活動 ・森林水源涵養のための植林や下草刈り等の里山保全活動	
		電気・水使用の管理	・使用量の把握と節水活動の推進 ・照明の人のセンサー・季節ごとのスケジュール機能見直し	
		クリーンエネルギーの活用	・太陽光発電所発電事業 ・本社ビルの地中熱利用換気システム、太陽光発電、太陽光利用給湯、蓄電池の利用	
	循環型社会形成への取組み	廃棄物排出量の把握	・マニフェストの管理と分別収集の徹底 ・廃棄物排出量の削減	
		ペーパーレス化の推進	・プリンターのID管理による無駄な印刷の抑制 ・オンライン会議での資料画面共有による会議資料の印刷削減 ・スマホでも閲覧可能なように添付資料のPDF統一化 ・プリンターの印刷色 デフォルトを白黒にするルール化 ・印刷紙の裏面活用、印刷時の縮小化、両面印刷の推進 ・各種申請、日報、給与明細のシステム化(スマホ or PC閲覧) ・全社員への業務用スマホ、ノートPCの貸与	
		グリーン調達	・事務用品、工事資材等の積極的なグリーン商品購入	
		ICTを用いた先進的な取組み	・テレワークやオンライン会議を多用し、移動による労働時間やCO2排出、エネルギー等の削減 ・e-ラーニングによる社員のSDGs教育・社内データの一元管理化 ・本社「Nearly ZEB」認定、ZEBリーディング・オーナー登録 ・体表温検知システム販売・現場支援システムを用いた業務の合理化 ・電気通信工事事業者広域連携基本協定締結 ・スマート農業技術の開発・VR技術を用いた技術教育の構築	
2 法規等の遵守	環境管理の推進	化学物質等の適切な管理・処理及び代替化の取組み	・SDS制度に基づいた化学物質使用量の厳格な在庫管理 ・化学物質使用量の削減 ・資材倉庫、油倉庫の整理整頓	
		環境法規制の遵守	・環境法規制の遵守を行い、景観・騒音・振動・悪臭・緑化に配慮する	
		ハザードマップ作成	・現場周辺の過去の災害、地形や環境を調べて作成し現場事務所に掲示	
		生物多様性に配慮した工法	・工事現場地域の生物多様性に配慮した行動、工法を検討実施する	
		災害時の備え BCP対策	・非常用電源の点検、災害対策本部の見直し、連絡体制の模擬訓練 ・長距離無線LANや安否確認システム等連絡手段の確保 ・食料備蓄品、段ボールベッド、簡易型炊き出しセットなどの管理	
3 啓発活動の推進	環境活動の推進	環境マネジメントシステムの自律運用	・EA21推進委員会(月1回/年12回) ・クロスパトロール実施(3カ月に1回/年4回) ・内部監査の実施・防災訓練、環境教育の実施	
		各事業所単位の環境活動支援	・地域ボランティアによる環境貢献活動	
		職場環境の向上	・働き方改革の推進・ワークライフバランスの推進 ・ジェンダーダイバーシティマネジメントの推進・外国人の雇用 ・全フロアWi-Fi化による座席の自由度と効率化 ・ムダムラを無くす文房具の共有化 ・治療と仕事の両立支援、キャリア育成の行動計画策定 ・アルコールチェック義務化の対応・業務打合せ時間の見える化 ・経営幹部養成プログラムでの幹部候補育成	
4 コミュニケーションの推進	社会との協調	環境コミュニケーションの推進	・食事の機会に「3010運動」の実施 ・インターンシップや会社見学の受け入れ ・会社見学者の即時受付のための体制 ・環境経営レポートの配布(会社見学・採用活動・営業活動時) ・各種環境等コンクールへの応募・ホームページにてレポートの公開 ・SNSを用いた会社情報や環境活動の発信・各種寄付活動 ・熊本市と「カーボンニュートラルの実現及びレジリエンス強化に関する連携協定締結」 ・「パートナーシップ構築宣言」で取引先とのパートナーシップ強化	

環境関連法規への確認および評価、違反・訴訟

環境法規制の遵守活動を行い、その遵守状況の評価を行った結果、環境法規制への違反はありませんでした。

環境法規制の遵守活動を通して、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

法 規 制 等	遵 守 事 項(法規制/自主規制)	遵守評価
家電リサイクル法	・取引業者への適正な引き渡し(発生時のみ)	○
自動車リサイクル法	・取引業者への適正な引き渡し(発生時のみ)	○
フロン排出抑制法	・廃棄時の適正処置(発生時のみ)・処理委託書提出、処理報告書の受理 ・特定施設の自主点検の実施	○
建設リサイクル法	・工事に係る分別、再資源化の実施・再資源化完了の書面報告 ・対象工事の7日前までの市町村長への届出	○
騒音規制法	・知事へ7日前までに届出(指定区域周囲80m) ・作業敷地境界にて85デシベル以下・空調機(本社・支社)の届出	○
振動規制法	・知事へ7日前までに届出(指定区域周囲80m)・作業敷地境界にて75デシベル以下	○
廃棄物処理法	・産業廃棄物の保管・委託契約書(5年間保存) ・マニフェスト伝票管理(5年間保存)・産業廃棄物管理表交付、状況報告 ・産業廃棄物の運搬(運搬車への表示・マニフェスト伝票の携帯)	○
消防法	・市町村条例で定める(指定数量の1/5以上、指定数量未満の場合、あらかじめ届出)	○
建設汚泥の再生利用に関するガイドライン等	・適切な調査、設計、施工及び管理を行う・リサイクルの結果を確認し、記録を保存	—
オフロード法	・特定特殊自動車排出ガスの規制	—
悪臭防止法	・塗料等を使用する場合の作業量や時間帯の検討	—
道路法	・公共道路を使用する場合(道路管理者へ道路占用許可の申請)	○
道路交通法	・公共道路を使用する場合(管轄の警察署へ道路使用許可の申請)	○
水質汚濁防止法	・知事に60日前までに届出・測定を実施(記録の保存3年間)	○
下水道法	・公共下水道管理者にあらかじめ届出・生活環境項目については、条例による	○
毒物及び劇物取締法	・メチルその他化学物質の表示、保管(八代支社)	○
地下水保全条例(熊本県)	・ポンプ(本社)の届出(地下水採取の届出及び地下水涵養の取組み)	○
浄化槽法	・定期点検、法定点検の実施(八代支社)	○

(参考資料について)

『環境LDB法令集〈建設工事編〉(監修 一般社団法人 日本建設業連合会)』を毎年更新し、社内でダウンロードして使えるようにしています。

人的資本経営とDXで持続可能な未来に向けて

新型コロナウイルスが5類感染症へ移行したことでテレワークが減少し、社員の出勤率がコロナ禍前の水準に近づいてきました。その結果、電気と水の使用量が目標を下回る結果となりました。産業廃棄物の増加については、既存設備の更新工事等による産廃量増加が要因と考えられます。一方、ガソリン使用量の減少は、車両管理アプリの導入や電動車へのシフト等の取り組みの効果が現れ始めています。環境活動については、コロナ禍以前のレベルに徐々に戻しつつあります。全体的に昨年度の実績値と比較すると数値は減少していました。2024年度は新たな目標基準の年となりますので、引き続き社員一人ひとりが自分ごととして意識し、部署を超えて協力しながら取り組みを続けてください。

また、2023年は、働き方改革を進める基盤づくりの年でもありました。10月には「人的資本経営コンソーシアム」に加入、11月には「白鷺電気工業DX計画」を策定いたしました。人材を会社の資本として考え、DXによる業務改革とリスクリングによって人材育成を推進し、次世代へのノウハウ継承を進め、働き方改革と収益向上に繋げてまいります。

白鷺電気工業株式会社
代表取締役社長 沼田 幸広

人的資本経営について



人的資本経営コンソーシアムは、日本企業における人的資本経営を実践と開示の両面から促進することを目的とし、人的資本経営の実践に関する先進事例の共有や企業間協力に向けた議論、国内外の人的資本に関する情報の収集・発信と普及を行います。また、人的資本経営の実践の場として、会員と投資家との対話の場も設けられます。

資格取得一覧



※令和5年9月1日時点：全78種が「資格手当支給対象」となり
努力が実る制度が作られています。

第1種電気主任技術者
1級電気工事施工管理技士
1級管工事施工管理技士
監理技術者（電気）
測量士補
工事担任者1種
（AI・DDデジタル・アナログ含む）
陸上特殊無線技士2級
品質管理検定2級
2級建設業経理士
秘書技能検定準1級
キャリアコンサルタント

第3種電気主任技術者
2級電気工事施工管理技士
2級管工事施工管理技士
監理技術者（通信）
消防設備士 甲類
工事担任者2.3種
（AI・DDデジタル・アナログ含む）
危険物取扱 乙類第4類
品質管理検定3級
3級建設業経理事務士
秘書技能検定2級
防災士

電気通信主任技術者（伝送交換）
1級土木施工管理技士
1級電気通信工事施工管理技士
監理技術者（土木）
消防設備士 乙類
第一級陸上無線技術士
宅地建物取引士
エコ検定
ITパスポート
サステナ経営検定2級

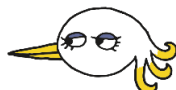
電気通信主任技術者（線路）
2級土木施工管理技士
第一種電気工事士
1級 機械保全技能士
工事担任者総合職（AI・DD）
陸上特殊無線技士1級
第1種衛生管理者
日商簿記2級
ビジネスコンプライアンス検定初級
サステナ経営検定3級

白鷺電気工業 公式キャラクター

♪ ドレミファしらさぎ ♪



しんちゃん



らんちゃん



さんちゃん



ぎんちゃん

SHIRASAGI®